

## 私が神に願うこと 使徒 26:1-32

「ことばが少なからうと、多からうと、私が神に願うことは、あなたばかりでなく、きょう私の話を聞いている人がみな、この鎖は別として、私のようになったださることで。」29 「耳にたこ」という諺があります。海のタコとは無関係です。何度も同じ事を聞かされて嫌になるという意味ですね。K牧師が大人、子供、中高生礼拝で同じメッセージするのは息子には不評だと話されました。年代に応じたメッセージをしておられるのに同じ内容を聞く事が不服だったようです。しかし、大事な事は何度でも伝えなければなりません。ユダヤ領主アグリッパ王の前に出たパウロは、暴動の時群衆に語った同じ証を繰り返しました。パウロが語った、私が神に願うこととは何でしょう。みことばから学びましょう。

### I. 神に立ち返ること 「悔い改めて神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行ないをするようにと宣べ伝えて来たのです。」20

神は、すべての人が悔い改めて神に立ち返ることを願っておられます。パウロは、立ち返るために◆天からの啓示を受けました。神の願いは、天からの啓示にそむかず、信じることです。啓示は、神が重要な事を示される為に与えられるしるしです。それが、聖書でありイエスキリストです。神は、パウロに天からの光を啓示されました。「その途中、正午ごろ、王よ、私は天からの光を見ました。それは太陽よりも明るく輝いて、私と同行者たちとの回りを照らしたのです。」13 それは、太陽よりも明るく、共にいた同行者も照らしました。また、更に天からの声も掲示されました。「私たちはみな地に倒れましたが、そのとき声があつて、ヘブル語で私にこう言うのが聞こえました。『サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。とげのついた棒をけるのは、あなたにとって痛いことだ。』」14 パウロは、この啓示を通してイエスを知り、神に立ち返えることができたのです。パウロは、アグリッパ王にも神の啓示にそむかず、信じて神に立ち返るよう伝えました。また、神は、神に立ち返るために◆悔い改めることを願っておられます。「悔い改めて神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行ないをするようにと宣べ伝えて来たのです。」20 悔い改めは、180° 方向転換して、向きを変え、神の望んでおられる姿を持つ事です。神は、すべての人が悔い改めて神に立ち返ることを願っておられます。パウロは、この願いを受け取り目の前のアグリッパ王にも悔い改めて神に立ち返るよう伝えたのです。「ダマスコにいる人々をはじめエルサレムにいる人々に、またユダヤの全地方に、さらに異邦人にまで、」20 悔い改めは、次のステップに進むためなくてはならないステージ。これを踏まない人は変わりません。しかし、悔い改めた人は、ふさわしい行ないをする者に変えられるのです。神は、人の目を開き、闇から光にサタンから神に立ち返らせ、悔い改めにふさわしい生き方を求められるのです。「それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らに罪の赦しを得させ、聖なるものとされた人々の中にあつて御国を受け継がせるためである。」18 パウロの願いは、神の願いでした。私達も悔い改めて神に立ち返りましょう。すべての人が神に立ち返ることを願っておられることを受け取り私達の願いとしましょう。

II. 私のようになったださい「私が神に願うことは、あなたばかりでなく、きょう私の話を聞いている人がみな、この鎖は別として、私のようになったださることで。」  
また神は、主と同じ姿に変えられる事を願っておられます。パウロは、アグリッパ王に私のようになったださいと語りました。王に対して不遜にも思えるこの様なことばを語ったのでしよう。それは、パウロ自身が主を見ならう者だったからです。●主を見ならう「兄弟たち。私を見ならう者になったださい。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。」ピリピ 3:17 パウロは、ピリピの手紙で他の弟子達に私を見ならう者となったださいと語りました。高慢だったのでしょうか。いいえ。彼は、主を見ならい、手本とした歩みをしてきたのです。罪の為、苦しみ、復活し、光を宣べ伝えた主を手本にしてきたので、私を見ならって下さいという事ができたのです。これを聞いたフェストは怒って「気が狂っているぞ。パウロ。博学があなたの気を狂わせている。」と言った。」24 と大声で叫びました。アグリッパ王の機嫌を損ねたくなかったからです。しかしパウロは、「フェスト閣下。気は狂っておりません。私は、まじめな真理のことばを話しています。」25 と気が狂っているわけでも王を怒らせようと思っているわけでもなく、ただただ、真理であるイエス・キリストを伝えたかったからでした。また、私のようになったださいとの言葉は、キリスト者になって欲しいという意味でもあります。●キリスト者に「するとアグリッパはパウロに、「あなたは、わずかなことばで、私をキリスト者にしようとしている。」と言った。」28 この答えは、そうです私はあなたにキリスト者すなわち、イエス・キリストを信じる者になって欲しいのですとストレートに語ったのです。彼は、「ことばが少なからうと、多からうと、私が神に願うことは、あなたばかりでなく、きょう私の話を聞いている人がみな、この鎖は別として、私のようになったださることで。」パウロは、ことば数ではなく、私の話を聞いた人みなキリストを信じて神に立ち返る事こそ私の願いですと伝えたのです。しかし、王も総督もベルニケもこれを退け立ち上がりました。今日私達の願うこととは何でしょうか。私達は、パウロのように私達を待っておられる神に立ち返りイエスキリストを私達の見本として歩み、神の願いを私達の願いとして歩む者に変えられましょう。God bless you.